

||||||| 記 事 |||||

例会記録

**第38回神奈川地方会秋季例会・日本医史学会9月  
学術例会合同例会** 平成23年9月10日(土)  
鶴見大学歯学部3号館2階3-1

一般講演

1. 心臓カテーテル法の発見 佐分利保雄
2. 森鷗外と横浜市歌 荒井保男
3. 釈迦時代における出家僧の健康管理について  
杉田暉道
4. 関寛斎流の医の倫理 関根 透, 島田道子

**日本医史学会10月例会** 平成23年10月22日(土)  
順天堂大学医学部9号館2階8番教室

1. 江戸期在村医の医療行為における製売薬  
～岡山県邑久郡中島家文書の調査から  
梶谷真司

2. 東京・青山霊園ハルツホルン(Henry Hartshorne :  
華爾都保崙; 乞治呵倫)の墓 樋口輝雄

**日本医史学会11月例会** 平成23年11月26日(土)  
順天堂大学医学部10号館2階203番教室

1. 江戸期在村医の医療活動  
～岡山県邑久郡中島家文書の鍼灸記録から  
松村紀明
2. 精神科医・小林靖彦(1919-2007)が遺した精  
神医療史資料の意義を考える 橋本 明

例会抄録

## 精神科医・小林靖彦(1919-2007)が遺した 精神医療史資料の意義を考える

橋本 明

精神科医・小林靖彦(1919-2007)は、戦後のわが国における精神医療史研究のバイオニアの一人である。2008年夏、筆者は名古屋市にある旧・小林邸を偶然発見し、彼の研究資料が残されていることを知った。その後、遺族の好意によってすべての資料を譲り受け、小林資料の分析を開始した。2011年10月、愛知県立大学で第15回精神医学史学会が行われ、筆者は同大会の主催者として「小林靖彦回顧展」を企画した。彼の業績と日本の精神医療史研究への貢献について検討した

がら、小林資料分析の成果を写真やパネルにして展示した。そこで、精神医学史学会の回顧展での検討を踏まえて、筆者のこれまでの小林資料研究の一端を紹介したい。

1919年に千葉県に生まれた小林靖彦は、1944年に名古屋帝国大学医学部を卒業したあと、杉田直樹が主宰する神経精神科教室に入局し、その後、岐阜少年鑑別所所長、公立陶生病院精神科部長(愛知県瀬戸市)、名古屋市立大学医学部精神医学教室助教授などを歴任した。小林の精神医療